

バス停からの 小さな旅



08 「加茂野コミュニティセンター東(あまちの森) しょうよう線」から加茂野の大池を散歩する

市の西部・加茂野町は、大きな川のない台地の上にあります。昔から住民たちは田に水を引くためにため池を掘り、その水で農作物を育てていました。

江戸時代以降に、鷹之巣地区の天乳池あまちいけと瓢箪池ひょうたんいけ、稲辺地区の稲葉池、加茂野地区の大池、木野地区の木野池、今泉地区の三ツ池が築かれました。

その中の大池には、豊作の神様である弁財天べんざいがまつられており、毎年7月には水に感謝をして豊作を願う「池まつり」が行われています。たくさんのおうちんに飾られたいかだが池の中央にこぎ出され、池は幻想的な空気に包まれます。

昔から伝わる池の物語を感じながら、自然の残る池のほつりを散策してみたいかがでしょうか。

【参考文献】

- ・加茂野町まちづくり協議会
- 『加茂野町の発展のすがた』年表で見る近現代史 明治から150年』
- ・みのかも文化の森ホームページ
- 『美濃加茂事典』



▲自然が残されている大池



今回乗車したバス

行き・あまちの森・

しょうよう線 左回り3便

帰り・あまちの森・

しょうよう線 右回り4便

09時18分 美濃太田駅南口

10時12分 加茂野コミュニ

ニティセンター東

大池の周りを散策。

11時12分 加茂野コミュニ

ニティセンター東

バス車内から瓢箪池、天

乳池を眺める。

12時08分 美濃太田駅南口



▲大池にて撮影されたもの
(昭和12年7月16日)個人蔵